



from DAIGO 大東

慣れないながらも楽しそうに縄をなう子どもたち

伝統文化を子どもたちへ

しめ縄と昔ながらのおやつ作り教室

曾慶公民館と曾慶老人クラブ連合会(佐藤福治会長)が共催するしめ縄と昔ながらのおやつ作り教室は12月25日、曾慶地区センターで催されました。これは、異世代間交流と地域の伝統文化継承を目的に毎年開催しているものです。

参加した子どもたちは、老人クラブの皆さんから説明を受けながら丁寧に縄をなっていました。また、昔のおやつ「げんべだ」と「がんづき」を一緒に調理。老人クラブの皆さんから昔の話を聞きながら、おいしく食べ交流を深めていました。



from ICHINOSEKI 一関

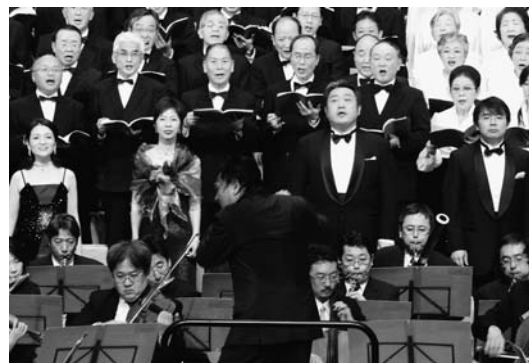
鳴り響いた歓喜の歌声

第九演奏会で300人の大合唱

いちのせき第九演奏会(熊谷徹哉実行委員長)は1月8日、一関文化センターで行われました。3年ぶり10回目の今回は市内を中心に岩手県南、宮城県北の愛好者約300人が「歓喜の歌」と呼ばれるベートーベン交響曲第9番を高らかに歌い上げ、「合唱のまち いちのせき」の新春を彩りました。管弦楽は仙台フィルハーモニー管弦楽団、指揮は同団指揮者の山下一史さん。ソリストには一関にゆかりのある佐藤恵利さん、徳永香織さん、辻秀幸さん、千葉英二さんを迎えました。

ベートーベンのバレエ音楽「プロメテウスの創造物」序曲に続いて、メインの交響曲第9番が演奏されました。フィナーレの第4楽章では4人のソリストと混声4部合唱が加わってシラーの詩「歓喜に寄す」に込められた「人類愛への賛美」が会場いっぱいに響き渡り、大ホールを埋めた聴衆から鳴り止まない拍手が送られました。

アルトのソリストを務めた徳永香織さんは地元出身で3回目の出演。「知っている方たちに囲まれて歌えることはうれしいことです。今回は学生から年配の方まで幅広い層の方が参加しており、合唱のまちとしての今後のさらなる飛躍が感じられました」と感想を述べました。第1回から連続して参加する尾形洋さん(66)＝南十軒街＝は「回数を重ねている分歌詞を理解し、表情豊かに歌えるようになりました。終了後は感動で涙が出ました。出来ばえもこれまでで最高です」と喜びを語ってくれました。



上 仙台フィルの演奏に合わせ市民を
中心に約300人がコーラスとして
参加
左 指揮者の山下一史さんとソリスト
の皆さん

地域の除雪の大きな味方

駒場自治会で除雪機を導入

駒場自治会(千葉信一会長・95世帯)は、財自治総合センターの「宝くじ普及広報事業費」コミュニティ助成事業を活用し、除雪機2台を購入しました。

同自治会では昨シーズンの大雪による経験を生かし、子どもたちの通学路の確保や生活道、公共施設周辺などの除雪作業の一助を地域住民で担おうと導入しました。自力で雪かきが難しい高齢世帯や一人暮らし世帯なども増加している同自治会。除雪機による地域の安全維持とコミュニティーの醸成を図りたいと、会員らは操作講習会を熱心に受講していました。



from SENMAYA 千厩

出番を待つ自治会員と除雪機



from HIGASHIYAMA 東山

力強い筆運びで書く子どもたち

新年の抱負を書に託す

書き初め席上揮ごう会

第29回東山町書き初め席上揮ごう会は1月5日、東山公民館で行われました。

新春恒例の行事として行われているこの書き初め会には、小学生から一般まで46人が参加。引き締まった雰囲気の中で限られた時間内に腕を振るわせ、一人一人が見事に書き上げました。

作品は「青空」や「明るい未来」など、新年の希望や抱負が込められたものが見られ、会場は正月らしさにあふれていました。



from KAWASAKI 川崎

左 「次はオレ」と交代で力強くもちつき
下 白熱した今年最初の紅白試合

決意も新たに気合い十分

柔道スポ少で寒げいこと鏡開き

今年で22回目のかわさき柔道スポーツ少年団(団員13人)の寒げいこを締めくくる紅白試合と鏡開きは1月14日、川崎中柔剣道場で催されました。紅白試合後は、9日から5日間の寒げいこに毎日参加した7人に皆勤賞が贈られたほか、昇級者に認定証が交付されました。

傍らでは父母たちが声援を送りながらもちつきの準備をし、けいこを終えた子どもたちが交代で元気にきねを振るってもちをつきあげました。

きれいに飾ったよ!

浜横沢児童館で小正月行事

浜横沢児童館(千葉睦子館長・児童16人)では1月11日、まゆ玉ならしなどの小正月行事が行われました。

園児はミズキの枝にカラフルに着色した団子と小判や大黒様、恵比寿様などをかたどった飾りを付け、色とりどりの花が咲いたようでした。「きれいだな」「初めてだった」「楽しかった」など、園児たちは伝統の行事を体験して満足そうでした。

まゆ玉ならしが終わった後はみんなでしょうゆ団子を食べ、小正月行事を満喫しました。



from MURONE 室根

色とりどりのまゆ玉を丁寧にミズキの枝に付ける園児

「たくさんの夢を持って！」

花泉中学校で教育講演会

花泉中学校(岩淵健校長・生徒460人)の生徒、保護者を対象とした教育講演会は1月12日、同校で催されました。「ふるさと花泉会」(黒澤功記会長)が平成14年から花泉の青少年健全育成を目的に、各界で活躍する会員を講師として派遣し行っているものです。

今回の講師は、花泉町油島出身で現在埼玉県の松伏町教育長として活躍している奥住公夫さん。奥住さんは「Dreams Come True」と題し、夢をたくさん持つことの大切さを、自身の中学生時代の事、英語の教師を目指した体験談などを通して熱く語りかけ、生徒たちは熱心に聞き入っていました。



from HANAZUMI 花泉

自身の体験談をもとに語る講師の奥住公夫さん